

# 松楓殿 再現展示& 再現記念特別展

再現展示「松楓の間」令和2年 3月27日(金)～ 高岡商工ビル1階

再現記念特別展

「松楓殿を彩った家具調度品／郷土の偉人 高峰博士の功績」

令和2年 3月27日(金) 10:00～17:00

28日(土)・29日(日) 9:00～17:00

高岡商工ビル2階

入場無料

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

## 高峰讓吉博士顕彰プロジェクト事業の主旨

わが郷土の偉人である高峰讓吉博士は、化学者として「人類の幸福」を追求し、後年には、ノーベル賞級と絶賛されたタカヂアスターゼ、アドレナリンを発明・発見されました。

一方、日米の親善や文化交流に尽力し、「無冠の大使」としても称賛されました。

この度、その高峰博士ゆかりの「松楓殿」の「松楓の間」を博士生誕の地高岡に再現し、あわせて高岡ゆかりの彫刻家が手がけた家具をはじめ、松楓殿に残されていた数々の調度品をご披露することとしました。また、高峰博士の功績を広く知っていただくため、紹介パネルや資料も展示します。この事業を通じて、高峰博士の功績を後世に伝えるとともに、無限の可能性を秘めた子どもたちが、科学に関心を持ち、理解を深める取組みをさらに発展させていきたいと考えています。

高峰讓吉博士顕彰プロジェクト／高岡市・高岡商工会議所

### 「松楓殿」の概要

1904年(明治37年)、アメリカ・セントルイス万国博覧会でメインパビリオンとして出展された、二階建て寝殿造りなどの建物を高峰博士が譲り受け、翌年ニューヨーク州のメリーウォルドに移築しました。翌1906年に室内装飾を手がけたのは牧野克次(現京都工芸繊維大学)初代助教授です。後にこの別荘は、枢密院顧問大鳥圭介により、松楓殿と名付けられ、日米親善の社交場や政財界の要人の迎賓館として利用されました。



1階再現展示 完成イメージ図



提供：第一三共株式会社

Dr. Takamine Jokichi

高岡に生まれた世界的化学者



## 高峰讓吉

1854年(嘉永7年)～1922年(大正11年)

高岡御馬出町の町医者・高峰家の11代目として1854年(嘉永7)に生まれ、少年期より長崎・京都・大阪などで学んだ高峰博士は、当初医学を志しますが、15歳のころに化学分析学を学んだことを機に、化学の道に進むことを決意します。

地道な研究を続け、食物を消化する酵素「タカヂアスターゼ」の発見と、副髄質ホルモン「アドレナリン」の抽出に成功しました。

高峰博士は偉大な化学者であるとともに、その語学力と行動力で企業を動かし、その発明、発見を製品化した事業家でもあります。

多忙な日々の中でも郷土の発展を常々願い、帰省の際には、講演会などで富山県の神通川や黒部川の水力発電を利用し、高岡市伏木地区におけるアルミ産業を提唱しました。そのほか、アメリカと合併で黒部水系に東洋アルミニウム株式会社を設立し、電源開発



にも取り組みました。これらの取り組みにより、伏木地区が臨港工業地帯として発展し、高岡市のアルミ関連産業の発展に大きく繋がったといえます。

また、高峰博士は事業成功で得た富を、日米親善、民間外交のためにも、惜しみなく投じています。日露戦争時には、米国の世論を日本の味方につけるために、日本政府の依頼を受けて、私費を投じて米国各地での講演会、現地新聞一面を使った日本PR投稿などで奮励努力、奔走しました。

ワシントンD.C. のポトマック河畔にある桜並木の植樹を企画し資金を提供したのは高峰博士であり、ニューヨーク市へも桜を寄贈しています。

